



# みやぎジュニアトップアスリートアカデミー 第13期生選考測定会 募集要項

## 募集内容について

- 【応募対象】 宮城県在住の小学4年生男女
- 【申込期間】 令和6年9月2日(月)～10月16日(水) ※期日を過ぎた申し込みはできません
- 【申込方法】 宮城県スポーツ協会ホームページにある、専用申込フォームによるオンライン申込。  
 <<入力内容>>  
 参加者情報、保護者情報、小学校4年生時の新体カテスト測定結果、  
 課題作文(①応募理由 ②アカデミーを通じてどのように成長したいか)、二次選考測定会希望日調査、アンケート  
 ※新体カテスト測定結果をお持ちでない方は、お申し込みの前に当協会にご連絡ください。
- 【参加費用】 参加無料

## 選考方法について

### 一次選考

- 【選考方法】 書類選考(申込時に入力する新体カテスト測定結果・課題作文)
- 【選考人数】 180名程度

### 二次選考

- 【選考方法】 体力測定

選考詳細 開催日程：令和6年11月16日(土)  
 (午前の部) 9:30～12:00 / (午後の部) 13:45～16:15  
 開催会場：岩沼市総合体育館・ビッグアリーナ(岩沼市里の杜一丁目1-1)  
 測定種目：身体計測、マルチシャトルラン、ドッジボール投げ、30m走、垂直とび、ボックステスト、立ち三段とび

- 【選考人数】 30名(男女各15名)  
 ※二次選考は、一次選考の結果と合わせて総合的にを行います。

## 選考結果について

- 【通知方法】 宮城県スポーツ協会ホームページにて、受験番号で発表します。  
 ※受験番号は、後日郵送する受験票をご確認ください。
- 【発表日時】 一次選考結果 令和6年11月7日(木) 15時  
 二次選考結果 令和6年12月2日(月) 15時

- <<注意事項>>
- 測定会の申し込みについて
    - 本人と保護者で相談の上、保護者の責任でお申し込みください。
    - 参加には保護者や責任の取れる大人の同伴が必要です。
  - 個人情報の取り扱いについて
    - 本事業で得られた個人情報は、本事業の目的以外に一切使用いたしません。
    - アカデミー生に認定された場合、氏名及び学校名が公表される場合がございます。
    - 測定会を撮影した写真が、新聞・テレビ・ホームページ等へ掲載される場合がございます。
    - 本測定会等で得られた情報(氏名・連絡先を除く)は、競技力向上を目的とした事業に活用させていただきますので、予めご了承ください。

【主催・お問い合わせ先】



## 公益財団法人宮城県スポーツ協会 スポーツ推進部競技スポーツ推進課

〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1  
 TEL: 022-349-9655 E-mail: powerup1@mspf.jp

詳しくはホームページをご覧ください。

宮城県スポーツ協会 検索



## エントリー 開始!!

みやぎから世界へはばたけ!!  
めざせ!未来のトップアスリート



## 募集期間

9.2月  
10.16水

# みやぎジュニア トップアスリートアカデミー 第13期生選考測定会

## 対象学年

- ・宮城県在住の小学4年生男女

## 選考方法

### 一次選考

## 申込方法

宮城県スポーツ協会ホームページ  
よりオンライン申込

- ◆書類選考  
選考人数：180名程度

### 二次選考

- ◆体力テスト  
日程：令和6年11月16日(土)  
場所：岩沼市総合体育館  
ビッグアリーナ  
選考人数：30名(男女各15名)

主催 公益財団法人宮城県スポーツ協会

後援 宮城県・宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、独立行政法人日本スポーツ振興センター

# みやぎジュニアトップアスリートアカデミーとは

本事業は将来のトップアスリートの発掘・育成を目的に、選考測定会により特に体力・運動能力が優れていると認められた県内児童をアカデミー生として認定し実施しています。

アカデミー生は、小学5年生から中学2年生の期間（4年間）で将来トップアスリートになるために必要な能力や知識をさまざまなプログラムにより学ぶことができます。また、普段取り組む機会の少ない競技も含め、多くの競技を体験することにより新たな出会いを提供し、実際に興味・関心のある競技に挑戦することで更なる競技力の向上を図ることを目指しています。



## 主なアカデミー活動の紹介

### 育成プログラム（小学5年生～中学2年生）

#### 身体能力育成プログラム

トップアスリートになるために必要な、トレーニング方法やストレッチ等の運動能力を高める内容を学ぶことができます。

- ・コーディネーショントレーニング
- ・体幹トレーニング
- ・ストレッチ



#### 知的能力開発プログラム

運動能力だけでなく、トップアスリートになるために必要な考え方を学び、人間力を高めることを目的としています。

- ・コミュニケーション能力の開発
- ・夢をかなえるための目標設定
- ・チームビルディング



#### 食育プログラム

身体づくりや体調管理に欠かせない、食事について学ぶことができます。

- ・ベストパフォーマンスと食事の関係
- ・ジュニア期の栄養と食事



#### 保護者プログラム

保護者の方が、今後お子様を支えるうえで必要となる情報の提供を行います。

- ・スポーツ栄養学
- ・スポーツ医学



### 競技体験プログラム（小学5年生）

連携する競技を実際に体験（各競技年1回）し、競技の特性や楽しさを体験することができます。

### 競技選択プログラム（小学6年生～中学2年生）

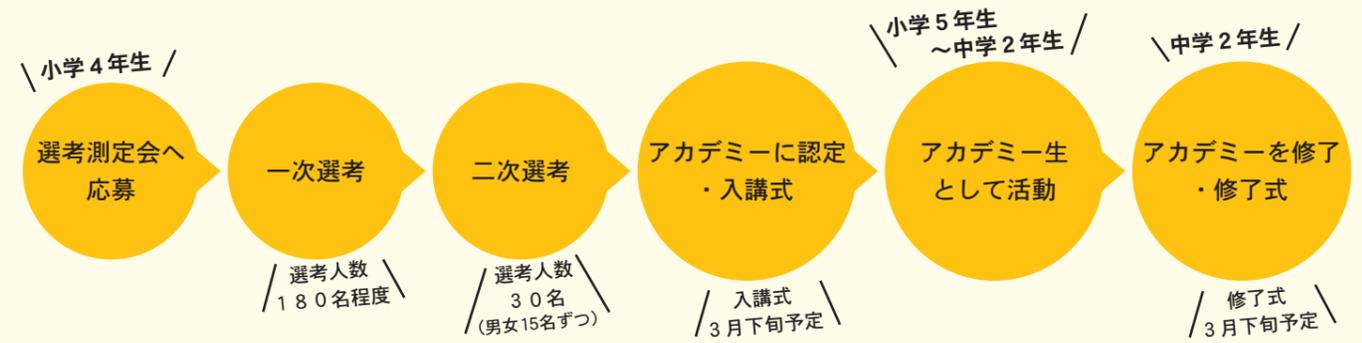
競技体験プログラムの経験を基に、自分の興味・関心のあるいくつかの競技を選択し、年間を通して競技団体からの指導を受けることができます。

【挑戦できる競技（15競技・17種目）】 ※今後変更となる場合があります。

アイスホッケー・水泳（A S・水球・飛込）・セーリング・ライフル射撃・カヌー・ボウリング・ボクシング・レスリング  
ウエイトリフティング・ハンドボール・自転車競技・フェンシング・銃剣道・ポブスレー・スケルトン・トライアスロン



# アカデミー認定から修了まで



## アカデミー修了生を紹介

多数のアカデミー生・修了生が世界大会や全国大会等で活躍!!



木下 凜さん  
競技：スケルトン

第1期生

#### 【大会成績】

- ・2022年スケルトン世界ジュニア選手権 出場（U-20 4位）
- ・2023全日本プッシュスケルトン選手権大会 1位（同大会7連覇）



男帛 結衣さん  
競技：陸上

第7期生

#### 【大会成績】

- ・第42回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 優勝 第8区間賞/未来くん賞受賞
- ・第72回宮城県中学校総合体育大会陸上競技大会 女子2・3年1500m第1位(大会新記録7年ぶり) /最優秀選手

## アカデミー生・修了生に聞いてみた!

### アカデミーで学んだことは

アカデミーでは、様々な競技体験プログラムが行われています。その中で、送り迎えしてくれている親、競技を教えてくれるコーチ、運営してくれるスタッフ等、様々な人が関わってくれて初めてスポーツが成り立つことを知りました。そこから「スポーツに関わる人への感謝の気持ち」を学びました。

### これからのアカデミー生に一言

みやぎジュニアトップアスリートアカデミーの活動の中で得られる沢山の学びや経験は、自分の人生の中で大きな財産となります。アカデミー生としての時間は戻って来ないので、目の前の事に全力で取り組み、少しでも多く吸収出来るよう、日々アンテナを張って生活して欲しいです。



第1期生 競技 スケルトン 郷内 翔さん

### アカデミーに応募した理由

学校の先生からもらったパンフレットを見て、大好きなスポーツでもっと成長できるチャンスがあるなら挑戦したいと思い応募しました。トレーニングだけではなく体づくりについても学んだり、見たことや聞いたことのないスポーツも体験できると知り、新しいことにもチャレンジしてみたいと思いました。

### これからのアカデミーで頑張りたいこと

普段なかなか経験することのできないトレーニングや講習を受けてたくさんのことを学び、さまざまなスポーツやどんな場面にも適応していけるような力を身につけたいです。学んだことは生活の中でも大切に意識しながら、4年間で確実に今の自分をよりスキルアップさせていきたいです。



第12期生 菅原 実莉さん

## よくあるお問合せ

### Qアカデミーの活動期間はいつまで？

A アカデミー生として活動できる期間は、小学5年生から中学2年生までの4年間です。アカデミー修了後は、自分のやりたい競技を選択して、競技団体の指導のもと競技を続けることができます。

### Q活動はいつ・どこで行っているの？

A 活動は、土日祝日に県内の体育・スポーツ施設で行っています。ただし、競技選択プログラムについては、競技によって平日や夜間の開催となる場合もあります。※各プログラム会場へは、保護者の方に送迎していただきます。

### Qアカデミーへの参加費用はかかるの？

A 入講時に、アカデミー活動時に着用するユニフォームを購入していただきます。それ以外の参加にかかる費用は、原則無料です。

### Q習い事やスポーツ少年団活動と両立できるの？

A 現在活動しているアカデミー生の多くは、両立して活動を行っています。※原則として、学校行事や大規模大会を除き、アカデミー活動への参加を願っています。

